



令和7年5月1日現在	
総世帯数	1,352世帯
総人口	2,334人
男	1,117人
女	1,217人

### ひしひしと迫り来る 巨大地震に備えて

梅ヶ枝町町会防災部長 百瀬 隆夫

近年、地震への備えがますます重要となっております。4月18日の夜間には市内で震度4と震度3の地震があり、余震も頻発しました。私たちのまち・松本市には地下に牛伏寺断層が存在し、専門家から巨大地震発生の可能性が指摘されています。

牛伏寺断層は過去に約千年の周期でマグニチュード8クラスの巨大地震を引き起こしてきました。前回の地震から約千二百年が経過しており、いつ地震が発生してもおかしくない状況です。過去の地震では最大で上下6・5メートル、水平14メートルもの断層のずれが発生した痕跡が残っています。南海トラフ地震の発生よりも前に牛伏寺断層による地震が起こることも懸念されており、決して他人事ではありません。万が一の事態に備え、町会全体で防災意識を高め、日頃から準備を進めていければと思います。



昨年12月に行われた地震体験車による地震体験訓練

昨年12月に行われた地震体験車による地震体験訓練の皆さんのご協力により、2箇所の個人所有の井戸を「災害時協力井戸」として松本市に登録することができました。災害時には誰でも使用できる貴重な水源となります。今年6月1日に予定している梅ヶ枝町会の防災避難訓練は、断水・停電が同時に発生した場合の水の確保を想定した訓練を実施します。第二地区公民館の非常用発電機を用いて、「災害時協力井戸」から水を汲み上げる訓練を行います。

能登半島地震では広範囲に亘る断水が2ヶ月以上続き、生活用水の確保が大きな課題となりました。「備えあれば憂いなし」です。地域全体で災害に強いまちづくりを目指し、一步一步着実に防災対策を進めてまいります。

### お稲荷さんと公民館

中条東第二町会  
上條 千枝子

我が町「中条東第二町会」には、お稲荷さんと町内公民館があります。お稲荷さんはいつも町内を見守ってくれています。春と秋の年2回、例祭を行っています。当日は、野菜やお酒などをお供えし、主さんに祝詞を唱えていただ

き参加者がそれぞれ参拝します。いつも十数人の町内の方が参加されます。神事後は直会です。以前は各家庭より一品ずつ持ち寄り公民館でお酒を酌み交わすなど懇親の場にもなっていました。が、「コロナ以降は、お弁当を持ち帰り各家庭で頂いています。

稲荷社の前に建てられていた赤い鳥居は、経年劣化で危険な為に昨年の秋に取り壊されました。30年程前には、鳥居の前に鉄棒が設置されていて小さな遊び場でしたが、現在は貸駐車場となり、町会運営費の貴重な収入源となっております。



中条東第二町会を見守る熊鷹稲荷神社

この稲荷社と同じ敷地内に建っているのが「中条東第二公民館」です。年季の入った建物で、和室が2室と小さな台所があり、新年会や総会などに使用されています。が、年々使用する機会も減っている気がします。子供達が使っていた青山様の御神輿も公民館の物置に保管されたままです。

先日の総会では将来の公民館解体時の費用の負担が話題になりました。今後の町会役員のみならず、受け継がれてきた行事や建物をどのように伝えていけるのか？そんな課題もあります。

春にはお稲荷さん横の桜夏には薄川の花火やせせらぎ、秋には近所の方から本庄一丁目産の柿が届きます。街なかに居ながらにして四季折々に私の心を和ませてくれます。中条東第二町会は、とても良い所です。

退任センター長挨拶



第二地区  
地域づくりセンター  
前センター長  
白井 美保

2年間、大変お世話になりました。皆様の生活をお支えし、地域課題に取り組んでいるのが、不安な毎日でしたが、皆様からの温かいご支援を心の支えに、がんばることができました。皆様との思い出は、全て大切な宝物です。  
『いつも元気でニコニコと』優しい笑顔で、ずっと元気でいてください。感謝を込めて、ありがとうございました

新任センター長挨拶



第二地区  
地域づくりセンター  
センター長  
金田 光弘

この4月に第一地区地域づくりセンター長に着任いたしました。第二地区は松本駅から近く、高層マンションが立ち並ぶマチ場でありながら源智の井戸や深志神社など歴史や文化の香りが漂うところが魅力的だと感じています。  
皆様がいっきいきと暮らせるまちづくりのために、尽力させていただきますので、よろしくお願いたします。

令和7年度  
第二地区役員

町会長

南源地 三村 隆彦

北源地 大野 貴由

宮村町1丁目 伴 吉宏

宮村町2丁目 丸山 悦雄

梅ヶ枝町 横山 徹

長沢町 太田 賀夫

錦町 大澤 一夫

栄町 大久保庸夫

常盤町 寺嶋 修

向島 ◎上條 一茂

天神南小池町 横山和日光

飯田町1丁目 大野 幸司

飯田町2丁目 ○村上 重義

小池町 宮澤 泰也

中条東第1 西村 好寛

中条東第2 西 寿久

中条東第3 ○青柳 茂

中条東第4 上兼 誠市

町内公民館長 ◎会長 ○同副

南源地 茅野 俊幸

北源地 ○牛丸 一利

宮村町1丁目 手塚 勝彦

宮村町2丁目 廣田 純子

梅ヶ枝町 降旗 勝一

長沢町 細田 良子

錦町 清水 末子

栄町 柳沢 慎吾

常盤町 ○市川 英夫

向島 永田 洋子

天神南小池町 横山 和明

飯田町1丁目 林 真

飯田町2丁目 村上 圭子

小池町 ◎鴻田 益孝

中条東第1 武井 一幸

中条東第2 上條千枝子

中条東第3 青柳 和代

中条東第4 小笠原利恵

福祉ひろば事業推進協議会

会長 太田 賀夫

副会長 井上真由巳

会計 千田 圭子

丸山 悦雄

新町会長紹介



飯田町1丁目  
大野 幸司

公民館五部門委員

(運営委員、館報編集委員、図書視聴覚委員、体育委員、文化委員)

次号でお知らせします。

第二地区職員の紹介

令和7年4月現在の地域づくりセンター・福祉ひろば・公民館の職員体制です。

第一地区には松本市社会福祉協議会から地区担当の生活支援員が配置されており、併せて紹介いたします。

▼地域づくりセンター  
センター長 金田 光弘

▼福祉ひろば  
コーディネーター 小澤麻由美

▼第二地区生活支援員  
中島 雅子

▼公民館  
館長 早坂 義導

主事(係長) 栗田 幸信

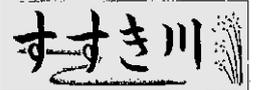
事務員 小笠原利恵

竹内 早苗

お詫び

だいにちく第162号での小穴真一さん(常盤町町会)の『任意団体』において、ご本人の承諾なく引用でない箇所を引用文として編集し掲載してしまいました。ここに  
お詫びします。

第二地区公民館



二度ない人生だから  
一輪の花にも  
無限の愛を  
そそいでゆこう  
一羽の鳥の声にも  
無心の耳を  
かたむけてゆこう

これは坂村真民の詩の一節である。この詩をもとに「身近なちょっとした変化に気づきながら日々命を大事に生きていこう」と生徒に語った。  
私自身はしがらみの中で押し寄せる仕事に忙殺されゆとりがなくなり、ストレスにより体調不良にも陥っていた。  
職を退いたら、命ある限り自由に生きよう。二度とない人生だから。第二の人生くらはいは！  
季節と共に、梅の花が咲き風に舞い散り、雀が木々の間を自由に飛び交う。猫が我物顔に他人の庭に遊び石灯籠の上に寝そべりこちらを見ている。花を愛で鳥の鳴き声を聞きながらゆつくり過す。  
しかしながら、いつの間にか「すすき川」にどっぷり浸かっている。流れに逆らえば逆らうほどに逃れられないしがらみにはまり込んでゆく。それでも二度とない人生だから、最期に良かったと振り返られるようにしたい。(村上)